

様式③-1

平成30年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(継続事業)：事業地区・箇所別概要(1)

1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名	
		道路改築事業	湯の山温泉線	
②事業担当課	課CODE	担当課	担当班	電話番号
	170080	道路建設課	道路建設班	059-224-2630
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・準過疎・過疎)	市町字名	
	20	四日市 郡部 一般	菟野町 菟野	
④事務事業名	道路改築事業			
⑤基本事業名	道路ネットワークの形成			
⑥公共事業評価システムにおける分野名	交通利便性の向上			

2 事業の概要

事業の概要				
延長	400m		事業採択	2009年度
橋梁整備	269m		事業着工	2009年度
交差点改良	2箇所		事業完了	2018年度
			供用開始	2019年度
			全体計画事業費(億円)	36.570
			全体計画工期(年数)	10年
事業の目的				
一般国道湯の山温泉線は、観光街である湯の山地区からR477号を結ぶ唯一の路線であり、H16年度及びH20年度の豪雨災害により通行止めとなった際は、地域が孤立して大きな混乱を招いた。このため、緊急時、及び災害時における代替路を確保するため、当該路線のバイパス事業を行うものである。				

3 事業計画の進捗状況

評価実施年度	平成29年度	前回評価	
評価結果 (優先度判定の結果)	I	特記事項	
事業進捗率 2016年度までの事業進捗率	81.1%	2017年度完了までの事業進捗率	98.9%
事業進捗率の算定式 [進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]		実施済み総事業費 (億円)	36.17

4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)		必要である
	○	必要でない
1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定 (該当する項目にチェックする)		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間(5~10年)を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定 (該当する項目にチェックする)		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したもの及び事業効果が著しく低下した事業 □事業の主な目的を喪失した事業 □需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を図れない事業 □用地買取に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 □主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

5 公共事業再評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	継続
	中止
再評価審査の結果概要	

様式③-2

平成30年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(継続事業)：事業地区・箇所別概要(2)

1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名	
		道路改築事業	湯の山温泉線	
②事業担当室	室CODE	担当室	担当班	電話番号
	170080	道路建設課	道路建設班	059-224-2630
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)		市町村字名
	20	四日市	郡部 一般	菟野町 菟野

2 継続事業の重点化評価

(a) 事業の熟度 (A)

事業環境【全分野共通要件】

評価点

1	円滑な事業実施が可能な事業	1
2		

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

当該事業が、緊急時及び災害時の代替路の確保を目的としたものであること、また観光地の周遊道路となることから地元からの事業要望が高い。

(b) 事業の熟度 (B)

延伸可能性【全分野共通要件】

I	短期的に事業の延伸が困難な事業	1
II		

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

災害時における代替路の確保を目的としているため、事業効果を早期に発現する必要がある。

(c) 事業の戦略性

【全分野共通要件】

1		1
2	みえ県民カビジョンを補完する個別計画に位置づけられている事業	
3		

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

道路事業計画(継続箇所)に位置付け

(d) 事業の緊急性

【全分野共通要件】

1	次年度に完成(部分供用含む)が可能な事業	1
2		

(当該事業分野の事項)

I		1
II		
III		
IV		
V		
VI	道路事業計画の事業実施箇所に位置づけられている箇所の整備	
VII		

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

道路事業計画(継続箇所)に位置付け
平成30年8月末完成予定

【評価結果(優先度判定の結果)】

A	評価方法 A=0の場合：Dランク ・ A=1の場合：A+B×(C+D)により区分(3：Aランク・2：Bランク・1：Cランク)	3
---	--	---